

令和7年11月10日

件名 クビアカツヤカミキリ対策研修会を開催します

令和2年7月に、市内の農地で初めて特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害が確認されて以降、被害は徐々に増加し、果樹生産への大きな影響が懸念されています。

市では、これまで果樹農家への薬剤の配布や被害樹の伐採、ブラックライトの特徴を生かした卵の物理的防除など、様々な取り組みを行ってきました。

令和6年には、高崎市クビアカツヤカミキリ対策協議会（以下「協議会」という。）を設立し、防除対策現地研修会、生産者同士の意見交換、一斉防除、新薬剤による防除試験など、クビアカツヤカミキリ拡散防止に取組み、関係機関、農家の意識の向上を図っています。

この度、協議会では栃木県農政部経営技術課係長の春山直人氏を講師としてお招きし、クビアカツヤカミキリ対策研修会を開催する運びとなりました。

春山氏はこれまでに、栃木県農業試験場開発研究部病理昆虫研究室等において、「モモにおけるクビアカツヤカミキリの生活環と発生生態の解明」や「クビアカツヤカミキリの総合防除体系の開発」など、クビアカツヤカミキリ対策の先駆的な研究成果を発表しています。

- 1 目 的 もも、すもも、うめなどの果樹を食害するクビアカツヤカミキリの被害拡大を受け、被害状況と生態への理解を深め、効果的な防除技術を普及し、地域全体での被害拡大防止を図る。
- 2 日 時 令和7年11月12日（水）午後2時00分～午後4時00分
- 3 場 所 榛名文化会館エコール（高崎市上里見町1072番地1）大ホール
- 4 対象者 農業者等（県西部管内の各JA機関紙等により、市外にも広く参加を呼び掛けています。）
- 5 演 題 「クビアカツヤカミキリの生態と農業者ができる対策」
- 6 講 師 栃木県農政部経営技術課 係長 春山 直人 氏
- 7 主 催 高崎市クビアカツヤカミキリ対策協議会

【本件に関する問い合わせ】

農政部農林課

電話：027-321-1261